



## 下痢止め薬

### 《下痢はなぜ起こる?》

- ・ 食べ物の水分は大腸から吸収されるが、その吸収が十分に行なわれなかったり、大腸から水分が分泌され過ぎたりして、便に過剰の水分が含まれ、便がやわらかくなり過ぎる。
- ・ 食べたものが大腸の中を早く通過しすぎると、便が正常な硬さになる前に出てしまう。
- ・ 20～50代の男性は、便秘よりも下痢が多くみられます。
- ・ 「酸化マグネシウム」の飲む量が多くて、下痢になる場合があります。早めに医師と相談しましょう。


### 《治療は下痢の原因によって異なります》

下痢の原因は、さまざまです。一般的なものでは、**冷え、食べすぎ・飲みすぎ、ストレス(過敏性腸症候群など)**です。**激しい下痢、熱がある、便に血が混じる、腹痛や吐き気が続く場合は、食中毒が原因**かもしれないので早めに受診して下さい。3週間以上続く慢性の下痢では、潰瘍性大腸炎やクローン病なども考えられます。ここでは、一般的なものについてお話します。

**食中毒や細菌・ウイルスが原因の下痢は、下痢止め薬で「止めないほうがよい下痢」**です。この場合の下痢は、身体にとって良くないものを外に出そうとする自然な防御反応です。**細菌・ウイルスなど「身体にとって良くないもの」**は、下痢によって、早く身体の外に出してしまった方が良いのです。

一方、**ストレスによる下痢**など、一般的な下痢の場合は、つらい症状を緩和するために下痢止め薬を使用します。基本的に下痢が止まったら飲むのを止めます。下痢止め(下表①～④)は3日間、整腸剤(⑤)は1カ月が目安です。

### 《主な下痢止め薬など》

働き	病院で処方される薬	同様な働きを持つ成分を含む市販薬
①腸の運動を抑える 	ロペミン	ピタリット、トメダイン
	ロートエキス	ストッパ下痢止め、ビオフェルミン(下痢止め、止瀉薬)、大正下痢止め、エクトール(DX)、セイドー(A、ストッピー)タントーゼ下痢止め、新タントーゼ A、セイドー(A、ストッピー)
②腸を保護したり、炎症を静める	タンニン酸アルブミン	大正下痢止め、新タントーゼ A、ビオフェルミン止瀉薬、サトウ下痢止め内服液
③腸の保護や、有害物質を吸着	アドソルビン	サトウ下痢止め内服液
④腸内の腐敗や異常発酵を抑える	フェロベリン	ワカ末、新ワカ末 A、ワカ末止瀉薬、ピタリット、大正下痢止め、トメダイン、エクトール(DX)、ストッパ下痢止め、ビオフェルミン下痢止め、タントーゼ、新タントーゼ A、正露丸、セイロガン糖衣 A、サトウ下痢止め内服液
⑤腸に優しい善玉の乳酸菌を補う	ラックビー、 ビオフェルミン	新ビオフェルミン S、ビオフェルミン(下痢止め、止瀉薬)
⑥腸を保護する生薬を含む	五苓散、半夏瀉心湯、真武湯、四君子湯、啓脾湯(体質に合わせて)	セイドー(A、ストッピー)、エクトール DX、ワカ末止瀉薬、トメダイン、ビオフェルミン下痢止め、正露丸、セイロガン糖衣 A、ビオフェルミン止瀉薬



- ・ 下痢の時は**脱水症状**に注意(特にお子さまや高齢者の方)。水分補給をしましょう。ミネラルと糖質が脱水症状に適したバランスで配合されている補水液**OS-1(オーエスワン)**がお勧めです。